

科目ナンバー	LIN-3-011-e			科目名	第二言語習得論I		
教員名	小林 真記			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	受講者が自らの言語学習経験を振り返り、受講開始時にそれぞれが抱く言語学習観を確認した後に、前半では、母語習得のプロセスとその理論を学んでいく。後半では、学習者言語に焦点を当て、学習者の誤用研究の意義、習得順序と発達段階、語彙や語用、音声の習得について学んでいく。毎回、担当教員による講義だけでなく、学生による復習発表やディスカッションを行う。						
到達目標	第二言語（外国語を含む）の習得に関する基礎知識を身につけることを目的とする。これまでに国内外で行われて来た研究を考察し、「第二言語はいかに学ばれるのか」、「多くの第二言語学習者が母語レベルに達しないのはどうしてか」といった問いに対してより科学的な説明をできるようになることが一番のねらいである。さらに、本講義は、様々な理論や概念を用いて、受講者が自らの言語学習経験を振り返り、第二言語学習及び教育実践を多面的且つ複眼的に考察する力を養うことも目的とする。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	本講義は、主に、授業外でのリーディング、担当教員による講義、学生による復習発表、ディスカッション等のグループ活動からなる。予め指定されたテキストの範囲や論文等を読みワークシートの問題に答えてもらう。また、受講生は、毎回授業後にその日の授業について内省文を書き、次の授業でその内省文を基に、ディスカッションを行う。講義が始まって間もなくグループを決め、予定表に合わせて発表の担当箇所を決める。担当日グループは、前回の講義内容をパワーポイントと配布資料を用いて解説する。こうした予習と復習を基に、担当教員による講義や解説と学生中心のディスカッション等の活動を行っていく。						
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	1～3のすべてを満たす者（1の括弧内の記述は除く） 1. 言語学の基礎知識がある者。『教育言語学I&II』、『言語学I & II』、『英語学I & II』のいずれかの単位を取得済みの者。もしくは『教育言語学I』、『言語学I』、『英語学I』、『日本語学入門』のいずれかを同時に履修する者。（英語科教育法、日本語教育学、教育心理学、発達心理学関連の科目と合わせて履修できれば尚良い。） 2. 主に英語で書かれた教科書を読んでいくため、英文の文献でも積極的に読んでいく意欲のある者。 3. グループ活動に積極的且つ建設的に取り組む意欲のある者。						
アセスメントポリシー及び評価方法	言語学習史(15%) 復習発表 (20%) 授業内省文 (15%) 中間試験 (20%) 期末試験 (30%)						
教材	Lightbown, P. M., & Spada, N. (2006). How languages are learned (4th ed.). Oxford: Oxford University Press. 白畑知彦, 富田祐一, 村野井仁 & 若林茂則 (2009). 『英語教育用語辞典』 (第3版) 大修館.						
参考図書	小柳かおる. (2004). 『日本語教師のための新しい言語習得概論』 東京：スリーエーネットワーク。 白井恭弘.(2012). 『英語教師のための第二言語習得論入門』 東京：大修館.						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	コース概要： 第二言語習得とは？						
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。ワークシート0の質問に答えてくる。					時間数	2
2週目							
授業学修内容	母語の発達過程						

授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。ワークシート1の質問に答える。	時間数	2
3週目			
授業学修内容	母語習得理論 (1)： 行動主義		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
4週目			
授業学修内容	母語習得理論 (2)： 生得主義、臨界期、普遍文法		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。ワークシート2の質問に答える。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	相互交流論 (1)： ピアジェの認知主義		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	相互交流論 (2)： ヴィゴツキーの社会文化理論		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。ワークシート3の質問に答えてくる。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	相互交流論 (3)： 子供に向けられた言葉と言語社会化		
授業外学修内容	初回の授業から扱った内容すべてを復習し、ノートを充実させる。	時間数	4
8週目			
授業学修内容	中間試験、母語習得と第二言語習得の相違点		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。ワークシート4の質問に答えてくる。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	学習者言語研究の変遷 (1)： 対照分析		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	学習者言語研究の変遷 (2)： 誤り分析、中間言語		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。ワークシート5の質問に答えてくる。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	学習者言語の特徴 (1)： 発達過程		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	学習者の言語の特徴 (2)： 母語の影響		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	学習者の言語の特徴 (3): 語彙の習得		
授業外学修内容	教科書の指定された箇所を読んで、ノートにまとめる。講義内容に関するリフレクションをオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
14週目			

授業学修内容	学習者の言語の特徴 (4): 語用能力の習得		
授業外学修内容	中間試験以降の箇所を読み返し、ノートを充実させる。講義内容に関する内省文を書いてくる。	時間数	4
15週目			
授業学修内容	学習者の言語の特徴 (5): 音声の習得		
授業外学修内容	前期の学びに関する内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	5
上記の授業外学修時間の合計		37	
その他に必要な自習時間		53	

Number	LIN-3-011-e	Subject	Second Language Acquisition I		
Name	小林 真記 (Kobayashi Masaki)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course Outline	This course is a general introduction to the field of second language acquisition or the scientific study of how people learn a second language or foreign language. The course provides an overview of major theories and issues in this area and draws on perspectives from various disciplines such as linguistics, psychology, anthropology, sociology, and education in examining the complex process of learning a second/foreign language. Students will be encouraged to talk about their language learning and use SLA concepts and principles to make sense of their own experiences.				